

名古屋丸の内ロータリークラブ Weekly Report 例会場 名古屋クレストンホテル TEL 052-264-8000 例会日時 木曜日 12:30 クラブ会報/報委員長 安藤 正道 HP http://rc.nagoya-seinan.org/	 世界へのプレゼントになろう。	承認 1995.3.28
		会長 岩田 宏 幹事 若原 正幸 事務局 名古屋市中区栄 3-29-1 名古屋クレストンホテル 1007号 TEL 052-263-1324 FAX 052-263-0730 Email seinan1@fancy.ocn.ne.jp
2015-16年度 R.I.会長 K.R.ラビンドラン		
岩田 宏会長年度目標： 他クラブと友好の輪を広げ 名古屋丸の内ロータリークラブを知ってもらおう		

第962回 例会 No. 7 平成27年8月28日(金) 晴

例会変更「ガバナー公式訪問」

- ローターソンク 「手に手つないで」
- 出席報告 会員50名中28名出席
- 出席率 59.57% 出席計算人数47名
- 修正出席率 8月13日 休会
- ゲスト 加藤陽一ガバナー
大竹一義地区幹事
- ビジター 豊橋南 RC 内藤哲寛さん以下9名
(8/27 受付)

会長挨拶 名古屋みなと RC 会長 杉江豊文

今年度、名古屋みなとRC50 代会長を務めております杉江豊文です。大変僣越でございますが、3RCを代表し、会長あいさつを申し上げます。



加藤ガバナー、大竹地区幹事、ご来訪頂き、ありがとうございます。後程、講話を頂きます。そして、瀬戸RCの田中靖達君、米山奨学生のサイドホン君、ようこそお越し頂きました。心よりご歓迎申し上げます。

加藤ガバナーは地区方針として「ロータリーの原点に学ぶ～友情と寛容の輪を広げよう～」と挙げられております。私はスポンサークラブである名古屋西RCの片桐会長からご紹介頂き、第 2700 地区パストガバナー廣畑富雄氏の著書「ロータリーの心と原点」を読ませて頂きました。その本の冒頭に、こんな一節がありました。

—— ポール・ハリス氏が日本に寄られた折、「なぜあなたはロータリークラブを始められたのですか？」と質問されました。ポール・ハリス氏は、ウォーリングフォードという田舎町に育ち、その後はボストンに行かれ、若いうちに大都会シカゴに来られた方です。ポール・ハリス氏はその質問に対して一言、「寂しかったから」と答えられたそうです。すなわち、ロータリーの原点は、諸説ありますが、親睦にあるのではないのでしょうか。競争関係にない

会員同士が規則的な例会に出席し、見失っていた思いやりの心を取り戻し、相互の親睦を深め、切磋琢磨し、互恵関係を作っていくとしたのです。

加藤ガバナーは行動指針の中で、常にバッジを着用し、積極的に例会に出席し、エンジョイロータリーを心がけるように挙げられております。ここにお集まりのロータリアンは、常にいつも明るく元気に、堂々とバッジを着用し、積極的に例会に出席し、ロータリーをエンジョイしましょう。そうすると、決して皆様は寂しくないと思います。今流行のクマムシが言うように「あったかいだからあ♪」というふうになると思います。これで会長あいさつと致します。

ガバナー紹介
名古屋丸の内RC会長 岩田 宏



加藤陽一ガバナーのご紹介をさせていただきます。

加藤ガバナーは1996年7月に瀬戸RCに入会されました。2001-02年度のクラブ幹事をされた後、2008-09年度に瀬戸RCの会長をされております。マルチプルポール・ハリス・フェロー、ベネファクター、米山功労者でいらっしゃいます。今日は加藤ガバナーからロータリーの話をお聞かせ頂きます。宜しく願い致します。

ガバナー講話

国際ロータリー第2760地区ガバナー 加藤陽一
ご紹介頂きました、ガバナーになりたての加藤陽一です。所属は瀬戸RCです。

ガバナーになるということは大変なことだと最近つくづく感じております。8月に入り、こうやって公式訪問で毎日のようにどこかのクラブにお邪魔しております。今日も美味しい食事を頂いた訳ですが、毎日美味しい食事を食

べているので、だいぶ肥えてしまうのではないかと心配しております。



● RIテーマ「Be a Gift to the World」

RI会長のラビンドランさんはスリランカの方で、テーマは「Be a Gift to the World」、日本語では「世界へのプレゼントになろう」です。

1月、ガバナーになるために参加しなければならないサンディエゴの国際協議会へ、女房と子ども1週間行って参りました。最初は多少どこかで遊べるのではないかなと思っていたのですが、本当に朝から晩まで缶詰で、ロータリーの勉強をさせて頂きました。クラブ会長さんたちはRI方式で3日間研修をされたと思いますが、あのようなことを毎日朝から晩まで行いました。

その協議会の1日目、初っ端にラビンドランさんがこの「Be a Gift to the World」というテーマをお話しになりました。日本語では「世界へのプレゼントになろう」ということでしたが、これは少し英語と日本語が離れているのではないかなという気がしました。

協議会には世界中のガバナーが500人程集まるのですが、日本の同期のガバナー34人と毎日色々話をしており、その中で「この日本語はどうなのだろう？」ということで喧喧諤諤と議論しました。

ロータリーの研修リーダーであるパストガバナーの方も交えて話をしたのですが、「まあこういうふうに訳されたからしょうがないだろう」というような言い方をされています。しかし話し合う中で、「プレゼントというのはやはり分かりにくい。『世界へ奉仕しよう』、あるいは『サービスしよう』という言葉に置き換えたら理解しやすいのではないか」ということになりました。

同期のガバナー34人が今、私と同様にあちこちの公式訪問でお話をされていると思いますが、たぶん同じようなことを言っておられると思います。

ラビンドランさんはヒンズー教の熱心な信者だと聞いております。私にはヒンズー教と仏教の違いもよく分かりませんが、ラビンドランさんは「人間の価値は、いかに得たかではなくて、いかに施したかによって決まる」と仰っております。これは仏教も似たようなものではないかなと思うのですが、そのような考え方がラビンドランさんのベースにあり、「Be a Gift to the World」というRIテーマにされたのではないかと思っております。

● 地区方針

その協議会から帰って、色々と考え、地区方針は

「ロータリーの原点に学ぶ～
友情と寛容の輪を拡げよう～」

とさせて頂きました。

最近の新しいロータリアンを見ていると、少し我々の感覚と違うのではないかという感じがしております。例えば、7月に会員増強セミナーを行い、会員増強委員長さんや会長さんなどに沢山集まって頂きました。その中に、ポロシャツを着て半ズボンの方がおられました。会長さんがですよ。幹事さんはポロシャツと、海岸ではくようなズボンをはいていました。まさかロータリアンではないだろうと思っていましたが、聞いたらロータリアンだったのでびっくりしました。

皆さんご存じのように、RIそのものが「職業分類は5人までいい」というようにいい加減になってきて、入会のハードルを下げている訳ですね。ハードルを下げれば、参加する方も気楽な気持ちで参加するようになってしまいます。RIが決めたことですからそれでいいかもしれませんが、私はちょっと日本には合わないのではないかなという気がしております。そのようなこともあり、もう少しロータリーの原点に帰って頂きたいなと思って、地区方針を決めさせて頂きました。

そのような話をしていましたら、ある人から「原点というのはどこまでさかのぼるの？」という質問を頂きました。分かりません。少なくとも、10年20年程前の、厳しい中にも楽しいロータリー時代に戻って欲しいなと思って、こういった方針にさせて頂きました。

① 常にバッジを着用する

地区方針の内容は、まず「高潔なロータリアンを目指し、常にバッジを着用する」です。皆さんバッジを着けておられますが、中にはバッジを着けておられないロータリアンもいます。皆さん、胸にちょっと手をあててみて下さい。バッジを着ければ、ロータリアンとしてのプライドを自動的に持てるのではないかと思います。やはりロータリアンである以上、私は常にバッジを着けて頂きたいなと思います。今は夏ですので、上着はいらないかもしれませんが、ですけれども、私どもの瀬戸RCでは「上着は着なくてもいいから、バッジを着けた上着を持ってきて下さい」というご案内をしております。やはり、ロータリアンである以上は、常にバッジを着けて誇りを持って頂きたいなと思っております。

② 例会に積極的に出席する

次に、「例会に積極的に出席し、ロータリーの活動を楽しむ」、エンジョイロータリーです。

「『例会に出席し……』なんて、今更何を言っているのか」ということですが、中には出席率が非常に悪いクラブもあります。ただ、2760地区は、日本にある34の地区の中でも出席率はトップです。9月号の「ロータリーの友」や「ガバナー月信」にも載っております。それから会員数もトップです。聞くところによると、7月に東京の地区に5人負けたというような話がありますが、まだ確認は取っておりません。2760地区は会員数もトップ、出席率もトップ、それから、活動でもトップであると思っております。ワールドフード+ふれあいフェスタ(WFF)が10月24日、

25日に、例年通り名古屋の栄で開催されます。去年は3日間でしたが、今年は2日間です。

WFFは「ジャパンロータリーデー」と名付けられています。これは勝手に名付けた訳ではなく、RIの承認を頂いております。他の地区でもロータリーデーは行われていますが、「ジャパンロータリーデー」というのは2760地区だけです。なぜかと言いますと、WFFが日本の中心的なロータリーデーとして認められつつあるからです。

WFFは、地区からは1銭もお金を出しておりません。ロータリー各クラブさんからも、企業協賛やチケットを買って頂くなどのご協力は頂いておりますが、お金は頂戴しておりません。会員からの寄付によらず、イベントによって収益を得ています。また、一般の方々にも「EndPolioNow」を訴え、「ロータリーはポリオ撲滅を積極的に支援しているんだ」とPRをしながらご寄付を募っています。そうして得た収益金で、ポリオ撲滅を支援し、あるいはミャンマーやカンボジアでトイレを作ったり、子供たちにノートや鉛筆などの教材を贈ったりしています。地区の国際奉仕委員会の方が現地へ赴いて、そうした活動を実施しております。

皆さん、WFFには去年も来て頂いたと思いますが、実際に行って頂くと少し変わった非常に美味しい食事もあります。是非ともWFFに参加して頂きたいと思っております。

③ 自主的クラブの運営

次に、「自主的クラブの運営」です。今、2760地区には83クラブあります。83クラブのために地区があるのであって、地区が上から目線で「あれしなさい、これしなさい」と言うつもりはありません。ただ、先程のRIテーマのようなことはお伝えしますし、各クラブで色々な困ったことがあれば、地区に相談して頂ければと思っております。ガバナー公式訪問で回っていますと、補助金のことでよく質問を頂きます。「補助金の締切は早過ぎて使えない」というお話を頂戴しています。これについては、「2年越しの計画を立てて頂いて、来年度どういった補助金の事業を行うかを会長エレクトさんと連携をとって頂き、今の会長さん幹事さんが補助金を申し込んで頂ければ、決して期限が早過ぎるということはありません」と申し上げております。また、地区の財団の方にも、「出来るだけ期限をぎりぎりまで延ばして下さい」ということも言っております。そのような各クラブでお困りのことがあればどんどん地区の方に言って頂ければ、色々協力させて頂きます。各クラブそれぞれが、それぞれの個性でもって活動して頂ければ結構だと思っております。各クラブがそれぞれ楽しい例会、楽しい活動をして頂ければ素晴らしいなと思っております。

④ 会員増強・退会防止

それから、「会員増強・退会防止」は、RIではもう5、6年ずっと言い続けており、永遠のテーマのようなものです。先程も2760地区の会員数の話をしましたが、会員が減れば地区もRIも困るということです。RIではそのためにハードルを下げており、例えば「専業主婦も仕事の一つだ」ということを言っております。しかしこれは外国の話で、日本の話ではないと私は解釈しております。もちろん、専業主婦という職業分類でロータリアンになって頂く

のは決してやぶさかではありませんが、やはりどこかで一線を引いて頂いた方がいいかなと思っております。そうした課題もありますが、会員増強を各クラブさんにお願ひしたいと思っております。

⑤ 地区の改善・改革

「地区の改善・改革」については、今日の会長幹事懇談会でも色々な話を頂戴しました。地区の委員会の改革はなかなか難しいものです。ガバナーが「ああしてくれ」と言っても、なかなか聞いて頂けません。スケジュールも変えて頂けません。そのような状況ですが、地区として順々に改革していきたいと思っております。委員会も出来れば少なくしたい。人数も少なくしたい。回数も少なくしたい。そう思っております。これは田中パストガバナー以来、一生懸命目指していることです。また、地区の活動をして頂くことは大変嬉しいことですが、あまり長く地区の仕事をしておりますと、クラブに帰った時に浦島太郎みたいになってしまったという方も存じ上げております。そういったことでも、地区を改革したいと思っております。

● 地区からのお願い

私の地区方針に関しては以上ですが、次に地区からのお願いです。と言いましても、決して上から目線で言う訳ではありません。

まず、先程お話ししましたWFFへのご参加をお願い致します。

それから10月31日、11月1日には地区大会を、いつも通りウェスティンナゴヤキャッスルにて、岡崎東RCさんのお世話で開催する予定です。講師はJR東海の葛西名譽会長です。リニア新幹線のお話をして頂きますので、特に名駅RCさんには関係あるのではないかと思っております。是非とも地区大会にご参加頂きたいと思致します。

それから、6月にはソウルで国際大会を開催致します。ソウルでガバナーナイトを開催するつもりでおります。だいたい400人お越し頂ければ嬉しいなと思っております。国際大会は、今度がソウル、その次がアトランタ、というように毎年違う都市で開催されており、去年はブラジルのサンパウロでした。私は行くつもりはなかったのですが、近藤パストガバナーがどうしてもと言うので一緒に行って参りました。3泊7日で超特急の旅行でした。3日ブラジルにおいて4日飛行機に乗っていたという大変な難行苦行の国際大会でした。そのような国際大会は大変ですが、ソウルは非常に近いところですし、是非とも参加して頂きたいと思致します。

それから、希望の風奨学金についてです。皆さんにお願ひしていました東日本大震災被災高校生支援事業は終了しました。皆さんから頂戴した浄財はすでに現地に送っております。

それが終わったからということではありませんが、この希望の風というのは3年前から始められたもので、震災で片親あるいは両親を亡くしたお子様が大学を卒業するまでの支援をするというプログラムです。震災当時0歳だったお子様が大学卒業まで支援するということで、全部で20年程、今後17年程に亘るプログラムです。

